

☆☆☆ JRKU
第70号

JR九州ユニオン

福岡市博多区博多駅東2丁目13-21
GSハイム博多805号
TEL 092-415-4377
FAX 092-415-4399
発行人 縫 和 彦
編集人 田 中 勇

謹賀新年

縫 和彦

中央執行委員長

組合員・ご家族、OB会の皆さん、新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いいたします。

ロシアによるウクライナ侵略戦争から1年10ヶ月が経過しました。イスラエル・ガザ紛争も一時的な休戦は行われませんが、戦闘が再開され逃げる場所もなく何の罪もない「命」が奪われていきます。何ともやり切れません。尊い「命」を一方的に奪う戦争に「正義」などあるはずがありません。

地球温暖化による大規模災害が世界各国（各地）で起きているなか、いまだに殺しあう「狂気」を私たちは断じて許すことはできません。

今こそ、人類の英知を結集し、地球環境を守り、どのよう

に共存していくのかを、各国のリーダー達は理性的に語り合う時なのではないでしょうか。日本でも、自民党政権による物価高に喘ぐ国民の生活を顧みることのない、政治家の欺瞞と自己保身だけの「政治」が公然と行われています。「選挙目当ての減税（増税）」「膨らむ赤字国債」「使途不明、脱税まがいの政治資金・裏金操作」「競争ができる国づくりヘシフトした政策」「いつか来た道」は、

着実に私たちの身近に迫っています。

このような政治状況であるにも関わらず、労働組合の旗が立ち並ぶことがなくなってしまうた現実、寂しくかつ腹立たしく思っている方々も数多くいらっしゃると思っています。

私たちは、平和と人権・民主主義を守るために、そして子供たちの未来に美しい地球環境を引き継ぐために、広範な結集を指ささなければならぬと思います。

JR九州は、徹底した経費削減・大合理化の結果、3期連続の増収増益でした。

2022年9月のダイヤ改正以降、減便・減車（両数削減）・ワンマン拡大により、お客さまに多大な迷惑（車内急病人の増加、積み残し）をおかけしています。

3月のダイヤ改正で、どれほど改善されるのが焦点だと思っていました。が、現実はそのようになっていません。「コロナ前の9割程度しかお客さまは戻っていない」と、合理化を正当化し、自らの施策を省みることなく、お客さまを切り捨てるような施策では「公共交通機関」としての使命は果たせないと思います。

私たちは、鉄道の縮小・廃止への向っている会社施策を転換させるために、地域・利用者の

皆さんと連携して「誰もが安全で安心して利用できる鉄道（人にやさしい鉄道づくり）」を進めていかなければならないと思っています。

肥薩線復旧対策会議も4回開催されました。沿線自治体は「上下分離方式」を含め鉄道への復旧を求めています。JR九州は鉄道の「持続可能性」を問題とし鉄道による復旧には消極的な状況です。年間9億円の赤字解消と利用者数確保が急務な課題となっています。

昨年12月6日に、球泉洞の平野さんが企画した「SL人吉」に乗車された人吉・球磨地区のお客さまを、お迎え・お見送りに熊本駅まで仲間と共に参加してきました。「頑張ろう！人吉！球磨！」「SL人吉の故郷肥薩線を鉄道で存続させよう」と書かれた横断幕を掲げ、参加されたお客さまをお迎えしました。ホームに降りて来られた方々が、横断幕を見て「こっぴり」と笑って挨拶してくださいました。私たちも勇気と元気を頂きました。

復興・復旧には、かなりの時間を要すると思いますが、私たちは地域の皆さんとともに「地域公共交通」として鉄道で再生していけるように、これからも連携していきたいと思えます。

嘱託再雇用社員15名による

「損害賠償請求裁判」から2年が経過しました。口頭弁論も大詰め終了し。いよいよ証人尋問が2月16日スタートします。

昨年12月の裁判経過報告集會に参加させて頂きました。15名の先輩方の粘り強い闘いに敬意を表するとともに、私たちも本社電話行動や裁判傍聴。報告集會などを具体的に取り組み、最後まで支援していきたいと思ひます。また、この裁判を労組の垣根を超えて多くの囑託再雇用社員の方々が応援してくれていいます。有難いことです。これから多くの社員の理解と共感を勝ち取りながら取組みを進めていきたいと思ひます。

今後皆様さんのご理解とご協力をよろしく願ひいたします。

21世紀も。ウクライナ侵略戦争、ガサ紛争や軍拡化する世界情勢により、戦争の世紀に変貌しつつあります。昨年ほど「命」の尊さを痛感し涙したことはなかったように思ひます。一国の権力者の私利私欲のための侵略戦争や「過激派」掃討という名の「殺戮」を許すことはできません。何の罪のない人々の自由と、尊い命を奪う権利は誰にもありません。

一方で「経費削減」を口実とした無人駅・時間帯無人駅の拡大により、視覚障害者の方がホームから転落し列車に撥ねられる痛ましい人身事故も発生しています。事故を受けて「駅員がいれば防げたとは限られ

ない」「ホームから転落したかどうか証拠がない」と平然と言ひ逃れようとするこの会社とはいつたひ何なのでしょいか。

ワンマン両数(2〜6両)拡大により、運転士が停止位置を誤り(ヒューマンエラー)により、列車がホームに繋っていない状態でドアを開けたら、お客さまが列車から転落し死傷事故が起きる危険性があるので、「停止目標(停止位置)を統一して欲しい」と言う社員の切実な声を聞くことなく。「停目を変更すると列車の停止位置が遠くなりお客さまに迷惑がかかる」「ホームのベンチ等の移設すると経費がかかる」と言ひ訳し、「命」や「安全」より「経費削減」「営利」を優先する会社には何なのか。あまりにも理不尽で、腹立たしく、悔しく、悲しい現実が多すぎます。

こういう時こそ、目配り気配りが行き届いた政治・政策や、労働組合の姿が求められていると痛感します。

私たちは、少数ながらも労働組合の責務を果たし、これからも多くの方々と連携し平和で安全で安心して暮らせる社会の実現を目指していきたいと思ひます。

JR九州ユニオンは、今年も各地に積極的足運び、多くの方々と繋がり、さまざまな運動を進めていきます。

屈託のない本音と議論とご指摘を、本年もどうぞ宜しく願ひいたします。

嬉野正行

中央本部副委員長

新年あけましておめでとうございす。

今年2月に60歳還暦を迎えます。同時に若い6名以外が囑託再雇用社員になります。組織の減少は避けられない状況にあり、今後はいかに職場に労働運動を残し、今以上ユニオン運動を広げなければなりません。各地本、支部の体制の今後の運動も従来のやり方とは違う方法を模索する必要があります。しかしながら職場運動が基本であります。知恵を絞りいかなる困難にも立ち向かいます。

今まで創りあげた、自治体や議員、政党、平和団体、障がい者団体などあらゆる方々と連帯を更に深めていきます。

「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の精神のもと、若い6名と共に今後は一年一年が勝負になります。

己に厳しく組合員にやさしく、いかなる攻撃にもその先頭となり立ち向かいます。



高宮 浩

大分地本委員長

新年明けましておめでとうございす。

私も昨年は年男であり60歳を迎え囑託再雇用社員になりました。囑託再雇用社員の制度で賃金は下がり仕事内容は同じく、大変厳しい労働条件を身にもつて感じているところでありませんが、特休増や4月から囑託再雇用社員の賃金も少し増額されます。このことは、囑託再雇用社員損害賠償裁判の闘いの成果だと確信しています。私たち大分地本もこの裁判を組合員や支援していただいている方々と共に原告の皆さんを最後まで支持してまいります。

世界では終わりの見えない紛争が続いています。私たちは多くの方々と繋がりこれまで通り平和を希求し反原発を目指していきます。

春のダイヤ改正も明らかになりました。コロナ禍も落ち着き利用者の方々が戻って来ました。会社の効率化は安全なのか！利用者の方々にとって便利なのか？快適に利用できるのか？しっかりとチェック機能をもつて組合員と取り組みを進めてまいります。

今年一年も宜しく願ひ致します。

馬場義則

長崎地本委員長

新年あけましておめでとうございす。昨年中は平和集會、トレッキング開催に関して皆様のご協力に

感謝を申し上げます。

取り巻く情勢は、戦争が勃発し罪なきたくさんの子供や市民の命が奪われていきます。権力者たちによる争いが終わりの見えない最悪な事態を招いています。しかし、日本においても平和憲法改正をめざし、いつでも戦争が出来る国へ政府与党は法案をつくり米国と共に進もうとしています。武器商人だけが暴利をむさぼり多くの罪なき人が殺されていく戦争を決して許しては行けません。戦後78年経っても忌まわしい戦争を対岸の火事ではなく明日の我が国と危機感を持たなければなりません。被爆地である長崎は戦争や原爆の記憶を風化させない運動を継続して広めていきます。

JR九州は過去最高の増収増益となつています。BPRの促進と大効率化で施策を進めてきました。その結果対外的には西九州新幹線開業といった光を放ち、影の部分では無人駅拡大、ワンマン運転拡大、職場の統廃合などを強行的に行いました。また、コロナ禍を理由とした賃金抑制なども続き多くの離職者を出し続けている現実があります。私たちは鉄道に働くプロとして鉄道の安全運行と社員が働きやすい労働環境を目指しています。お客さまの命を守り「人にやさしい鉄道」を求め日々運動を進めています。今後も自動運転導入や職場の統廃合がすでに提起されています。しっかりとこれらを守る闘いを進めて行きましょう。

最後に組織の高齢化が進み厳しい状況になりますが、あらゆる課題克服に向け真摯に向き合い、組合員の利益を判断基準として今年もユニオン運動を広範に展開していきましよう。共に頑張りましよう。

増森憲一

鹿児島地本委員長

組合員、家族の皆さん。新年あけましておめでとうございます。

ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルとパレスチナの戦争状態は罪もない人々が犠牲となり悲惨な状況です。全世界は国際秩序を堅持し平和な世界を目指すべきです。

車掌解消の普通列車4両ワンマン化では、タブレット端末の誤動作・動作不良が続き、昨年、鉄道人身傷害事故が起ころべくして起きました。ヒューマンエラーは決して無くならず、効率化による安全対策の不備は会社に大きな責任があります。運転士の注意力だけを原因とする事は許せません。車掌が乗務したら、知らせる君が正常に動作していたら起きなかつた事故です。

BPRを含めた会社の急激な経費削減の効率化施策が原因とも言えます。

今春のグエイ改、人事賃金制度改正、問題点を分析し、人にやさしい鉄道づくりの実現と、嘱託再雇用社員の労働条件改善。安心して働ける職場環境を創り出す取り組みを、全

組合員で闘っていきましょう。

宇佐泰彦

熊本地本委員長

新年あけましておめでとうございます。

コロナ感染症による行動制限も解除になり、人の往来も活況になり多くのお客さまが鉄道を利用されています。しかし、利用者目線では、駅の利用時間や列車本数や車両数の削減によりお客さまには利用しにくい環境となっています。

国際社会においては、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガサ地区への侵攻により世界情勢の悪化が急速に進み、日本においても軍事大国化へ向けて防衛費の増税論争が巻き起こっています。私たちは平和を希求する仲間と連帯して反対運動を盛り上げていきます。

熊本地本は会社の安全軽視と経費節減政策に反対して組合員のモチベーションを高める行動をしています。



村上正

小倉支部委員長

新年、明けましておめでとうございます。

小倉支部は、鹿児島本線、日豊本線において6Bワンマンが実施され現在もモニター故障、放送機器故障、位置情報障害、お客さまの積み残しが発生しています。列車の安全運行のため、私たちは、停止位置の統一、多客時の両数増とツーマン化、ワンマン機器の整備の改善を求めます。

今年、人事賃金制度改正が実施されますが、同一労働、同一賃金を求め、嘱託社員と損害賠償請求裁判を共に闘って、待遇改善を目指していきます。

今後働きがいある職場環境を創り、お客さまが安全、安心して利用して頂ける優しい鉄道創りを目指していきます。

進 高光

直方支部委員長

新年あけましておめでとうございます。

私たちは、平和なこの国で穏やかなお正月を迎えています。ロシア、ウクライナ、イスラエル、パレスチナでは今、この時も悲惨な戦争が続けられ罪もない多くの方々の命が奪われています。一日も早い戦争の終結を願うと共に日本の軍事大国化、戦争のできる国づくりに断固反対の運動を取り組んでいきます。

会社はセカンドステージに向けて運転区の統合、指令業務、駅業務、運転業務のできる総合社員化や自動運転の拡大を目指しています。将

来、私たちの職場を仕事が奪われ生活が脅かされるのが予測できます。ユニオン運動を更に強化し、他労組の仲間と共に職場と仕事と生活を守る運動を創り出していきます。

前関幸弘
博多支部委員長

新年あけましておめでどうござい
ます。今年もどうぞよろしくおねがい
ます。

2024年ダイヤ改正から香椎線では係員による自動運転の業務が一部導入されようとしています。これまで香椎ではモデル線区としてワンマン運転、電子符号照査式(車載器)、DENCHHA、自動運転等が九州で初めて導入された経緯があります。先輩方の努力や苦労により守り築いて来た香椎線で今運転士の仕事が奪われようとしています。

問題点を多く残す自動運転の係員による乗務の拡大に関しては今後の動向に注視しながら仕事と職場を守る取り組みを強化していきます。

「嘱託再雇用社員の労働条件改善」「人にやさしい鉄道づくり」「職場問題」等何かと課題が多いですが有意義な一年を皆さんとつくりたいと思います。



増本道生
唐津支部委員長

新年あけましておめでどうござい
ます。

唐津支部としまして今、一年間の課題としてまず、今年度に判決が予測される「損害賠償請求裁判」の支援を積極的に取り組んでいきます。

2月、4月と証人尋問が行われます。これに向けて支援を取り組み、裁判判決が良い報告になるように協力を行います。

次に職場の課題である要員問題です。前回、今回と新規養成に4人、5人と唐津に配属していますが、退職者また育休等で、要員が足りない状況であります。そのため年休が取れず取れても年休が特休に変えられ、特に嘱託再雇用社員は特休が増えたため年休が消化出来ない状況です。会社には、職場の予備率を公表して要員確保を目指していきます。最後に、唐津支部組合員8名ですが、今一年間、諦めることなく頑張っています。

佐々木勝志

南福岡支部委員長

新年あけましておめでどうござい
ます。

南福岡支部委員長の佐々木です。会社は、ここ数年コロナ禍を理由に経費削減や人員削減を大幅に行

い、社員に膨大な負担をかけているのが実態です。

乗務員に於いては、折り返し車両の座席方転や清掃、ワンマン運転では、駅員が削減されたので自車扱いが増え、お客さまの案内や遺失物などの届ける駅も限られ業務に負担が増えています。

そのような中、ワンマン運転で発生した広木駅での転落事故。私たちは、両数に関係なく停目はホーム内に停止できる位置になる要求をしましたが、会社は動かず未だに現状のままです。命を預かる乗務員の声を聞かず、精神論だけで続行させる会社は、何を意味するのでしょうか？

一方会社は、近頃になって運賃補脱に力を入れていますが、駅員がいない線区のワンマン運転士に運賃補脱の業務を丸投げするのは、負担が増大しワンマン運転の障害になる恐れがあります。

私たちは、それぞれの問題に対して安全重視に論点を置き、他労組にも声をかけて、会社の問題提起を行い、安心して乗務員が続けられる職場環境を創り出すことが大きな課題です。

共に頑張りましょう！



中央執行委員会

- 執行委員長 縫 和彦
- 執行副委員長 中 江 一貴
- 書記 長 嬉 野 正行
- 中央執行委員 岩 谷 文之
- 田 中 勇
- 花 牟 禮 聡
- 上 田 年 美
- 山 元 竜
- 島 田 正 晴
- 特別執行委員 中 村 逸 郎
- 村 口 康
- 草 柳 昌 二
- 岩 崎 正 登
- 池 田 亨
- 会計監査委員
- 〃

